

No. 537
2016年
4月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 2016年度定時総会開催

定款第14条の定めにより、2016年度定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会の議決権は代議員のみですが、正会員は出席し意見を述べることができます。出席される場合は、事前に事務局にご連絡ください。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日時：2016年4月27日（水）17時～

場所：三菱重工業(株)会議室

(〒108-8215 東京都港区港南2-16-5)

品川駅港南口徒歩3分

総会次第：

1. 2015年度事業報告の件
2. 2015年度収支計算報告および監査報告の件
3. 2016-2017年度役員承認の件
4. その他

● 2016-2017年度会長候補者信任投票結果

2016-2017年度の会長選出にあたり、名誉会員・正会員1,768名による「会長候補者信任投票」を2月1-12日に実施いたしました。投票総数609票、内有効票609票、内信任票605票でした。信任票が有効票過半数を満たしておりますので、会長候補者は信任されたことを報告します。

会長候補者選考委員会委員長

● 2016-2017年度代議員候補者信任投票結果

2016-2017年度代議員選出にあたり、推薦・公募の結果、定員＝候補者数のため、名誉会員・正会員1,768名による「代議員候補者信任投票」を2月1-12日に実施いたしました。投票総数599票、内有効票592票、内全員信任票584票、部分信任票8票でした。信任票が有効票過半数を満たしておりますので、代議員候補者35名は全員信任されましたことを報告します。

代議員選挙管理委員会

● 第6回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事

業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第6回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2016年9月30日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2017年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

*「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>

をご覧ください。

● 2016年秋季シンポジウム（第76回）

日程：2016年9月14日（水）

場所：山形大学（小白川キャンパス）

実行委員長：中山 明（福島大学）

● 2016年秋季研究発表会

日程：2016年9月15日（木）、16日（金）

場所：山形大学（小白川キャンパス）

実行委員長：古藤 浩（東北芸術工科大学）

● 2016年度研究部会・グループ一覧表

常設研究部会

	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	塩田茂雄 (千葉大学) shioda@faculty.chiba-u.jp	佐久間 大 (防衛大学校) sakuma@nda.ac.jp
2	数理計画 (RAMP)	松井知己 (東京工業大学) matsui.t.af@m.titech.ac.jp	清見 礼 (横浜市立大学) masashi@yokohama-cu.ac.jp
3	評価のOR	廣津信義 (順天堂大学) nhirotsu@juntendo.ac.jp	施 建明 (東京理科大学) shi@rs.tus.ac.jp
4	意思決定法	西澤一友 (日本大学) nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp	杉浦 伸 (名城大学) shinsu@meijo-u.ac.jp
5	サプライチェーン戦略	米沢 隆 (日本アイ・ピー・エム(株)) yonezat@jp.ibm.com	草刈君子 kimiko.kusakari@nifty.com

研究部会

	部 会 名	主 査	幹 事
1	安全・安心・強靱な社会とOR	神藤 猛 (千葉大学) shindo@chiba-u.jp	片山隆仁 (一般財団法人 防衛技術協会) katayama@ksj.biglobe.ne.jp
2	確率モデルとその応用	穴太克則 (芝浦工業大学) k-ano@shibaura-it.ac.jp	堀口正之 (神奈川大学) horiguchi@kanagawa-u.ac.jp 吉良知文 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所) kira@imi.kyushu-u.ac.jp
3	信頼性	土肥 正 (広島大学) dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp	肖 霄 (首都大学東京) xiaoxiao@tmu.ac.jp
4	ビッグデータとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) hsuzuki@ae.keio.ac.jp	高野祐一 (専修大学) ytakano@isc.senshu-u.ac.jp 横山 暁 (帝京大学) satoru@main.teikyo-u.ac.jp
5	リーマンマネジメントシステム	中島健一 (神奈川大学) nakasima@kanagawa-u.ac.jp	北條仁志 (大阪府立大学) hojo@mi.s.osakafu-u.ac.jp
6	アグリサプライチェーンマネジメント	蓮池 隆 (早稲田大学) thasuike@waseda.jp	加島智子 (近畿大学) kashima@hiro.kindai.ac.jp
7	最適化の基盤とフロンティア	岡本吉央 (電気通信大学) okamotoy@uec.ac.jp	奥野貴之 (東京理科大学) t_okuno@ms.kagu.tus.ac.jp
8	数理的発想とその実践	杉原一臣 (福井工業大学) sugihara@fukui-ut.ac.jp	野際大介 (福井工業大学) d-nogiwa@fukui-ut.ac.jp
9	不確実性環境下の意思決定モデリング	笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学) kasahara@is.naist.jp	中西真悟 (大阪工業大学) nakanisi@dim.oit.ac.jp
10 ☆	離散アルゴリズムの応用と理論	牧野和久 (京都大学) makino@kurims.kyoto-u.ac.jp	井出陽子 (三菱重工業(株)) yoko1_ide@mhi.co.jp 澄田範奈 (国立情報学研究所) sumita@nii.ac.jp
11 ☆	ORによる大規模インフラストラクチャー分析	三浦英俊 (南山大学) hmiura@nanzan-u.ac.jp	渡部大輔 (東京海洋大学) daisuke@kaiyodai.ac.jp

研究グループ

	グループ名	主 査	幹 事
	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp	石井儀光 (国立研究開発法人 建築研究所) ishii@kenken.go.jp

特設研究部会

	部 会 名	統 括	代表幹事
	オリンピック・パラリンピックとOR	腰塚武志 (筑波大学名誉教授)	田口 東 (中央大学)

● 2016年度研究部会・グループ

先に募集を行いました2016年度研究部会・グループに今回も多数の申請書が提出されました。研究活動の公開性、実績などに照らして審査を行いました結果、別表のとおり研究部会・研究グループが承認されました。(☆印は新設) 参加ご希望の方は、各部会・グループの主査・幹事までご連絡ください。

詳しくは、OR学会WEB掲載の各部会URLをご覧ください。
(研究普及委員会)

● 2016年度新設研究部会紹介

〔離散アルゴリズムの応用と理論〕

本研究部会は、オペレーションズ・リサーチのさまざまな分野に現れる離散アルゴリズムをテーマとし、実社会への応用、ならびに、それを支える基礎理論を議論する。

〔ORによる大規模インフラストラクチャー分析〕

本研究部会では、地域の持続可能的発展を支えるインフラストラクチャーの要件、OR技法を用いた大規模インフラストラクチャーの計画、インフラストラクチャーにおける危機管理等の諸問題をORの視点から研究する。

● 研究部会・グループ開催案内

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

部会URL：<http://www.oit.ac.jp/or/>

・第6回

日時：2016年4月9日(土) 14:00～17:00

場所：常翔学園大阪センター301教室

(大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3F)

<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

テーマと講師：

(1) 「最良な状況および最悪な状況に対応可能な合意形成における意思決定」

春名 亮 (金沢学院大学)

連携的な意思決定問題は多くの社会組織で行われているが、合意形成は非常に重要なことであり、本研究では合意の意思決定に対する合理的な解を二つの状況を想定して、各々の状況の下で導出を可能にするLPモデルを定式化することにより不確実性を考慮し、数値例を用いて従来のモデルとの比較を行うことを検討

している。

(2) 「単路線オンデマンドバスの期待乗車数算出モデルについて」

小柳淳二 (鳥取大学)

過疎地などで運用されている、利用者の要求に対応して運行するデマンド形式のバス運行を考える。バスは中心地と単路線上の各集落間を乗客からの連絡により運行し、乗客の発生はポアソン過程により発生する場合の期待乗車数の算出方法として、マルコフ過程を利用したモデルについて述べる。

懇親会：研究会終了後、17:15を予定。

・場所：四季自然喰処たちばな ヒルトンプラザ イースト店

大阪市北区梅田1-8-16 ヒルトンプラザB2

・費用：5,000円程度を予定

問合せ先：主査 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学) E-mail: kasahara@is.naist.jp

幹事 中西真悟 (大阪工業大学)

E-mail: nakanisi@dim.oit.ac.jp

〔待ち行列〕

部会URL：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

・第261回

日時：2016年4月16日(土) 14:00～17:00

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス西8号館 (W) 809号室

テーマと講師：

(1) 「active計測によるネットワークQoS過程のサンプリングとQoS推定精度について」

渡部康平 (長岡技術科学大学)

(2) 「優先サービスを行う待ち行列ネットワークの重負荷近似と状態空間の崩壊」

宮沢政清 (東京理科大学)

問合せ先：神奈川工科大学 井家 敦

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

● 新宿OR研究会

〔第357回〕

日時：2016年4月19日(火) 12:00～14:00

場所：OR学会事務局会議室

参加費：3,000円

問合せ先：日本OR学会事務局

* 詳細は学会WEBをご覧ください。

2016年度第1回 ORセミナー

『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

開催趣旨: ビッグデータの流行とともに、分析用のソフトウェアやクラウドサービスなどが普及しています。統計の知識がなくてもこれらを使えば、何らかの結果を得ることはできますが、内部ではどのような分析が行われているのでしょうか？ 正しい結果を得るためには、基本的な分析の知識が必要です。今回のORセミナーでは実際の例を交え、さまざまな統計分析の手法を基本から紹介します。

日時: 2016年6月4日(土) 10:25~18:00 (10:00開場)
会場: (株)構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
 丸ノ内線「新中野駅」1番, 2番出口から徒歩1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: 東京ガス(株)片瀬成識 (OR学会研究普及委員)

定員: 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

10:25~10:30 開会挨拶

10:30~11:25, 11:40~12:30, 13:40~14:30 「解析例で見る統計的モデリングのプロセス」

講師: 東京工業大学大学院情報理工学院 野村俊一

概要: 統計的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータに基づいて、データが生まれる確率的構造を推測することである。本セミナーでは、主に保険のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

14:45~15:40, 15:55~16:45, 17:00~17:50 「因果分析と要因探索のための多変量解析法」

講師: 慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究所 渡辺美智子

概要: 統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

17:50~18:00 閉会挨拶・アンケート記入

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

※ORセミナー参加特典: 正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2016年度の年会費は免除されます。

申込方法: お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入して、メールにて日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp までお申し込みください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。

申込締切: 2016年5月27日(金) OR学会WEB www.orsj.or.jp/activity/seminar.html をご参照ください。

振込先: みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通 1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会 (正会員と参加費同額): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・技術計画学会 (JSSPRM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

備考: このセミナーには2015年度第1回ORセミナーと重複する内容があります。

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円，
学生会員5,000円，
シニア会員7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担をお願いいたします。

*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきます。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

2016年3月で卒業の学生会員の方へ

1) 会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

変更届があった場合は、正会員に種別変更いたします。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

①WEBからの入会申込み

②入会金600円のお振込み

③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 5月以降に「学生証PDF送付依頼」のメールを送ります。返信をよろしく願います。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。